

形成外科

主任部長 津田 雅由

専門医等

日本形成外科学会 専門医
日本頭蓋顎顔面外科学会
日本手外科学会
日本マイクロサージャリー学会
日本褥瘡学会
日本下肢救済・足病学会

卒年

平成13年



診療科の紹介

当院形成外科は、北九州市の形成外科としては最も早い昭和50年に開設され、顔面、四肢をはじめとした体表面の形態異常を整容的、機能的に改善する治療を行っております。

形成外科のスタッフは昨年と変化なく、3人で診療を行っています。

当科では形成外科全般にわたる診療を行っていますが、とりわけ口唇口蓋治療においては症例数が多く、県外からも患者さんが来られます。最新のDPC対象病院の口唇裂治療実績では全国11位の手術件数となっております。口唇口蓋裂、小耳症、手足の多指症、合指症等、2019年には204件の先天異常の手術を行いました。

また当院には救命救急センターがあるため、顔面骨折を含む顔面外傷や、切断指再接合等の手の外傷、熱傷等を数多く担当しています。

他施設から紹介をいただくことが多い疾患としては、各種皮膚腫瘍、褥瘡、難治性潰瘍などがあげられます。

トピックとしては、2020年よりVbeam II レーザーを導入しました。毛細血管奇形（単純性血管腫）、乳児血管腫（莓状血管腫）、毛細血管拡張症といった皮膚良性血管病変の治療が可能となりました。小児、成人を問わず治療ができますので、お問い合わせください。

取り扱う主な疾患

①表在性先天異常

口唇口蓋裂、副耳、埋没耳などの顔面、多指症、合指症などの四肢、臍ヘルニアなどの体幹部の表在性先天奇形に対する治療を行っています。

②皮膚、皮下、軟部腫瘍（良性、悪性）

皮膚腫瘍、皮下腫瘍、軟部腫瘍（良性、悪性）に対して手術やレーザーを用いた治療を行います。組織欠損のサイズや部位により、必要に応じて再建手術を行うことがあります。

③顔面、手の外傷

顔面の皮膚、軟部組織損傷、骨折に対する処置、手術を行っています。また手指の外傷（骨折、血管、神経、腱損傷）に対する外科的処置、再建手術を行っています。また外傷や熱傷によって生じた傷跡や瘢痕拘縮に対して手術等の治療を行うことで整容的、機能的に改善します。

④熱傷

小児を含めた熱傷患者に対して加療を行っています。軟膏や創傷

被覆材を用いた保存的加療や、必要に応じて手術治療（植皮術等）を行います。

⑤難治性潰瘍

糖尿病患者の足潰瘍や下肢の虚血による潰瘍、静脈の機能不全によっておこる、うっ滞性皮膚潰瘍に対して治療を行っています。また褥瘡に対しても、軟膏療法、持続陰圧吸引療法を含めた保存的加療、皮弁手術を含めた外科的治療を行っています。

⑥その他

足趾の爪が食い込む陥入爪、加齢により目が開きにくくなる眼瞼下垂の治療を行っています。また、Qスイッチルビーレーザーによる色素斑の治療、炭酸ガスレーザーや高周波ラジオ波メスを用いた小手術を行っています。腋窩多汗症や、まぶたがひきつる眼瞼痙攣、顔の片側がびくびくする顔面けいれんに対してボツリヌス毒素を用いた治療を行っています。匂いが問題となる腋臭症（わきが）に対しては手術を行います。

診療実績

* その他には無麻酔や分類不明を入れる

入院手術	全身麻酔	350 件
	腰麻・伝達麻酔	23 件
	局所麻酔・その他*	184 件
外来手術	全身麻酔	0 件
	腰麻・伝達麻酔	13 件
	局所麻酔・その他*	921 件

形成外科 スタッフ紹介

統括部長 田崎 幸博（たさき ゆきひろ）

卒年 平成元年

専門医等

日本形成外科学会 専門医／日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科分野指導医／日本熱傷学会 専門医／日本口蓋裂学会／日本頭蓋顎顔面外科学会／日本手外科学会／日本マイクロサージャリー学会／日本褥瘡学会

形成外科部長 伊藤 綾美（いとう あやみ）

卒年 平成22年

専門医等

日本形成外科学会／日本マイクロサージャリー学会／日本熱傷学会／日本褥瘡学会／日本手外科学会